

## 県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
概要版				
1	○目指すべき回遊パターン	<p>&lt;目的について&gt;                      ○概要1ページ目の左下図に「目指すべき観光回遊パターン」、右図に「観光機能を高め、活性化を実現…」とあるが、そもそも観光だけが目的の計画でよいのか。住んでいる人も地域を知る、健康維持のために歩く、散歩する、子育ての場として活用するなど多様な目的があってよい。</p>	1	<p>【修正加筆等意見反映】                      計画では、観光客だけでなく買物客や住民なども対象としており、この地域の回遊ネットワークの充実を図ることとしております。このため、ご指摘のあった部分について修正いたします。</p>
2	○甲府城南側(お堀沿い)エリアの整備方針	<p>&lt;整備方針について&gt;                      市民、住民が自分たちの空間、場所であると思える取り組みが大切。市民とともに具体的な事業の実施を図ってもよいのではないかと。                      広場や歩行空間のレンガ、インターロッキングを市民が手作業で整備するなど、まちづくりにかかわることで、このエリアへの愛着にもつながる。                      子育て関連の機能、施設の導入。佐賀市の「わいわいコンテナ」的なスケール感でもよい。                      積極的に(市民)活動の場として利用していくことも必要。兵庫県の有馬富士公園が参考になる。</p>	1	<p>【実施段階検討】                      ご意見のとおり、住んでいる方に対する配慮も必要であると考えます。今後、実施段階におきましても、住民意見を踏まえ、計画の内容につきまして、検討して参ります。</p>
計画全般				
3		<p>&lt;アクティビティについて&gt;                      ○甲府城でしか体験できないことをいくつも考えて欲しい。</p>	1	<p>【実施段階検討】                      ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
4		<p>&lt;県と市の情報共有について&gt;                      ○一番問題なのは、県と市の情報共有があいまいな点にある。各々の政策がバラバラに行われている。</p>	1	<p>【その他】                      これまでも情報を共有して参りましたが、今後、さらなる情報共有を図って参ります。</p>
I 計画の背景と目的				
5	1. 計画の背景と目的	<p>&lt;時代背景について&gt;                      ○時代の先取りを念頭において、具体的な事業を立案、実施する。現代人の行動の基本が「物」から「こと」に移り変わっている。このことは、「歴史・文化が感じられる」空間等を求める割合が高いアンケート調査結果に表れている。</p>	1	<p>【実施段階検討】                      ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
II 計画の基本方針				
6	1. コンセプト	<p>&lt;計画について&gt;                      ○県民、市民が対象なのか(市民のよりどころにするのか)、観光客に重きを置いているのか(稼ぐ街なのか)が明確でなく、中途半端なものになりそう。</p>	1	<p>【記述済み】                      来訪者を増やし、中心市街地の賑わいの創出につなげることを目指しております。</p>
7	1. コンセプト	<p>&lt;計画について&gt;                      ○この素案に基づいて、具体的施策をスピーディに実践してほしい。</p>	1	<p>【実施段階検討】                      ご意見を参考にさせていただき、今後事業を進めて参ります。</p>
8	1. コンセプト	<p>&lt;市民の意識、参加について&gt;                      ○県・市主導でつくる発想ではなく、市民を巻き込んだまちづくり運動にしてほしい。                      長野県(諏訪・松本・長野市など)の市民意識、まちづくりの整備状況、魅力度と比較すると甲府城周辺は大きく遅れている。県外からの集客だけに注目するのではなく、地元住民に親しまれる整備が必要。</p>	1	<p>【実施段階検討】                      これまで、県内外の方へのアンケートの実施や、アイデアの募集を行い、また、検討委員会には地元の代表者も入り、ご意見をいただいたところです。                      今後、実施段階におきましても、住民と意見交換の場を設けるなど、地元住民に親しまれる計画となるよう努力して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
9	2. 活性化の目標と方針 甲府の歴史・文化を今につなげ、新たな文化を創造する	<p>&lt;観光資源について&gt;            ○県民、市民のこころのふるさととは『信玄』であり、甲府城ではない。観光資源で考えると『信玄』しかない。            観光地でなく、観光拠点的な考えにして、ここから山梨県中の観光資源地に行くような構想がいい。            リニアも絡めて新しい公共交通（中心街を拠点に山梨県内の観光地に行ける事・市民が甲府のどこへでも行ける事等々）構想も必要だ。            地域資源の魅力がないのに、甲府を小江戸にする事は無理だ。            宝飾産業（宝飾街）、ワイン、果物等々の山梨観光産業拠点構想の方が現実味がある。洒落た、小さな、店は新しい街づくりになる。</p>	1	<p>【記述済み】            武田氏ゆかりの場所などとのつながりを強め、歩いて巡る観光回遊を中心市街地全体へと広げていくため、甲府城周辺地域の観光資源を磨き、魅力を高めながら各資源をつなぐ回遊ネットワークを強化することとしております。</p>
10	2. 活性化の目標と方針 甲府の歴史・文化を今につなげ、新たな文化を創造する	<p>&lt;歴史教育について&gt;            ○甲府市民や山梨県民が甲府市の歴史・文化を知る機会を創出すること、特に小中学生などに対する故郷教育の強化が重要。            ○それぞれの年代に合った歴史教育が不可欠。            ○甲府城下町文化を正しく県民や来県者に伝え、本県の文化の高さを認識して頂くことは、明日を担う子ども達に「地域に根差したアイデンティティ」を涵養するためには、重要であり、そのシンボルとして、甲府城は重要。</p>	3	<p>【実施段階検討】            市民にとって、お城やまちの歴史・文化を学ぶことは、まちに対する誇りや愛着を強めることになり、まちの活性化や新たな文化創出の原動力になるため、重要だと考えます。ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
11	2. 活性化の目標と方針 甲府の歴史・文化を今につなげ、新たな文化を創造する	<p>&lt;建物の景観誘導等について&gt;            ○景観保全条例の制定など、景観保全についての対策を考慮、検討すべき。景観保全に関係なく高層建築物等を建設するなど、将来に向けた景観維持の確保が困難となることが憂慮される。</p>	1	<p>【その他】            甲府駅周辺地区は、甲府市景観計画において先導的景観形成地区として位置づけられており、将来に向けて眺望景観や歴史景観等を保全しつつ、これらと調和した都市景観や観光景観を創出することとしています。            ご意見を参考にさせていただき、今後検討して参ります。</p>
12	2. 活性化の目標と方針 お城とまち、まちと人をつなげる	<p>&lt;利用者の視点について&gt;            ○外国人観光客が甲府城周辺を周遊し、カネを落とすためにはどのような施策が必要か検討する必要がある。県内大学の外国人学生を巻き込み、外国人目線で取り組む。            ○食べ歩きには女性目線、回遊には子供目線、遊び心を入れる。            食べ歩き、回遊等に甲府ならではのストーリーを設定する。</p>	2	<p>【実施段階検討】            様々な人が集まり、交流する、賑わいのある空間を再生することが必要であると考えております。ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
13	2. 活性化の目標と方針 人と人をつなげ、交流を促進する	<p>&lt;飲食・物販施設等の誘導について&gt;            ○「飲食・物販施設等の誘導を行う。」の「誘導を行う」が、何をどうするのか不明確であるため、明確な記載が必要。</p>	1	<p>【実施段階検討】            具体的な取組につきましては、今後、実施段階で検討して参ります。</p>
14	2. 活性化の目標と方針 人と人をつなげ、交流を促進する	<p>&lt;学生等の参加について&gt;            ○高校生や大学生などを積極的に巻き込み、彼らの視点を十分に取り入れる。若い人々が集まり、賑わいを創出するだけでなく、若い人々と年配の人々が意見交換を行う場を設ける。            ○甲府市内にある各大学の県外学生との意見交換。</p>	2	<p>【実施段階検討】            様々な人が集まり、交流する、賑わいのある空間を再生することが必要であると考えております。ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
15	2. 活性化の目標と方針 人と人をつなげ、交流を促進する	<情報提供について> ○空き地、空きビルを利用し、若手(無名)芸術家などへの発表の場を提供する。 SNSを県外に向け有効に活用する。	1	【実施段階検討】 その他の取り組みとして、多様なツールによる情報発信を考えております。具体的な施策については、今後、実施段階で取り組んで参ります。
16	3. 回遊ネットワークの形成方針	<甲府城周辺地域の観光資源分布 稲荷櫓、鉄門について> ○「博物館等」の表示が欲しい。 甲府駅北口・よっちゃばれ広場の石垣を「甲府城を構成していた主な施設(緑色)」表示が欲しい。 甲府城石垣展示室を「甲府城を構成していた主な施設(緑色)」又は、単独の楕円として表示が欲しい。	1	【その他】 稲荷櫓については、展示品等もあることから、「博物館等」の表示をしておりますが、鉄門については、その規模から「博物館等」の表示はしていません。 甲府駅北口・よっちゃばれ広場の石垣については、その規模等から、「甲府城を構成していた主な施設」とはしていません。 甲府城石垣展示室は、その内容から「博物館等」に分類し、山梨ジュエリーミュージアムと合わせ一つの楕円で表記いたしました。
17	3. 回遊ネットワークの形成方針	<観光に関するアクティビティについて> ○ジュエリーミュージアム、石垣展示室の写真が欲しい。 甲州夢小路の魅力を表現する写真が欲しい。	1	【その他】 掲載した写真については、甲府城周辺地域のアクティビティ(食べる、飲む、買う、見るなどの観光行動)を、街歩きした目線で整理しています。
18	3. 回遊ネットワークの形成方針	<歩行者回遊ネットワークについて> ○橋東線～稲荷櫓 本丸～内松陰門～舞鶴橋～山手御門の2ルートを回遊ルート(既存)又は(充実又は新規)として記載すべき。	1	【反映困難】 設定した回遊ルートについては、多数の既存のルートの中から、主要なアクティビティのあるルートとして検討委員会のなかで抽出したものです。
19	3.回遊ネットワークの形成方針 (3)観光に関するアクティビティ	<観光に関するアクティビティについて> ○公園や商店街のお化け屋敷といった遊ぶアクティビティもあればよい。	1	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
20	3.回遊ネットワークの形成方針 (4)歩行者回遊ネットワーク	<駐車場の整備について> ○近くにたくさん停められる駐車場の整備が必要だと思う。駐車場から10分も歩く場所にはわざわざ歩いて訪れない。 ○通常の利用者は、コソリの駐車場を利用しやすいよう、動線や料金面で工夫が必要。 ○甲府の街中は無料の駐車場が少なく、混雑を嫌って避けてしまう。 北口の甲州夢小路は駐車場が利用しやすい。	3	【記述済み】 自家用車駐車場の利便性の向上についても、甲府市中心市街地駐車場施策構築事業などと連携し、検討することとしております。
21	3.回遊ネットワークの形成方針 (4)歩行者回遊ネットワーク	<歩行者回遊、歩道について> ○動線全体に同じデザインのタイルを敷き詰めたり、照明を統一したり、(長期的には)道沿いの建物のファサードデザインをある程度統一する。 舞鶴公園濠端線は建物の雰囲気や芝生の敷き方で、自然と足が向かうような動線作りをする。 ○町の色について検討してほしい。 平和通り他・近代的な街並み お城フロント他・歴史を感じられるまちづくり	2	【実施段階検討】 甲府城周辺は沿道建物等の景観誘導、道路の舗装等の統一などの景観的配慮が必要だと考えております。 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
Ⅲ 甲府城南側(お掘扱い)エリアの整備方針				
22	1.現状と課題	<現状と課題について> ○必要に応じた当該地の発掘調査を行うこと及び歴史的建造物(旧甲府税務署庁舎西側のレンガ塀などを想定)については保存を検討することを明示すべき。	1	【実施段階検討】 甲府城周辺は文化財包蔵地のため、必要な発掘調査については実施して参ります。 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
23	2.骨格形成	<p>&lt;骨格形成について&gt;  ○(城跡の)北側入口からの来訪者が、遊亀橋周辺まで足を延ばすための対策も考慮した、遊亀橋周辺のもてなし拠点としての整備も考慮すべき。</p>	1	<p>【実施段階検討】  計画では、歴史・文化ゾーンには、お城や甲府の歴史・文化を伝える空間づくりとともに飲食施設、土産物等の物販施設、体験工房等を検討しています。ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
24	3.整備方針 (1)空間・施設の整備方針	<p>&lt;掲載した写真について&gt;  ○出典の「甲府市今昔写真帖」の説明に誤りがあることによるものと考えているが、写真の博覧会は大正15年開催の甲府勸業博覧会ではなく、昭和5年9月22日から同年10月31日まで開催された「国産愛用 甲府勸業博覧会」の写真である。</p>	1	<p>【修正加筆等意見反映】  ご指摘のとおり、写真の説明に誤りがありましたので、修正いたします。</p>
25	3.整備方針 (1)空間・施設の整備方針	<p>&lt;歴史・文化関連施設の整備について&gt;  ○甲府城に関連する展示等の施設を建設する方向であれば、どのようなコンセプトを持った施設で何を目的にするかを早期に示した上で広く意見を求めることが重要と考える。  旧甲府税務署及び甲府市社会教育センター跡地を歴史文化のゾーンとするとなっているが、文化施設は両方の跡地に建設するのか、又は一方の跡地に建設するのであれば、一方の跡地はどのような内容とするのか。  ○町に対する誇り作りをどうするか。  情報発信拠点の整備、ガイダンス施設、集い・学びの場(伊勢お払いまちの中央舎他)、祭り(幕絵祭り)、大木コレクション(茶室・展示場)、ビューポイント検討</p>	2	<p>【実施段階検討】  歴史・文化関連施設の整備については、ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
26	3.整備方針 (1)空間・施設の整備方針	<p>&lt;広場について&gt;  ○なんでもイベントと言う考えはダメだと思ふ。  県民会館跡地が今、駐車場です。この構想との連携性が読めない。</p>	1	<p>【記述済み】  県民会館跡地は、観光客や住民などが集い、憩い、交流できる、隣接する県庁敷地と一体となった開放的な空間として整備を行うこととしております。</p>
27	3.整備方針 (1)空間・施設の整備方針	<p>&lt;飲食・物販施設等の整備について&gt;  ○「観光地の賑わい＝飲食・物販施設の整備」といった考え方が当てはまるか疑問である。  アンケートの「どのような施設があったら訪れようと思いますか」の質問に、「飲食関連施設」や「物販関連施設」を回答した者は、県内居住者が多く、本来の観光客に該当すると考えられる県外居住者の回答は、「観光関連施設」や「歴史等関連施設」が上位を占めている。  飲食・物販施設の整備について、恒常的な利用者となる県外観光客の意識や動向を主体に考えるべきである。  広場ゾーンと歴史・文化ゾーンの間にあたる場所に、「飲食・物販ゾーン」を配置することは、多額の予算をかけて甲府城整備を図ってきた本来の目的に反する。「舞鶴公園濠端線～横近習本通り線」よりも北側に、「飲食・物販ゾーン」といった、歴史環境保全に逆行するゾーンの配置や施設の建設は行うべきではない。  そうした施設は「中心商業エリア」の整備の中で考慮すべき。  導入の必要性について、アンケートの意見数のみを必要性の根拠に結び付けるべきではない。仮にそうした施設を整備した場合の費用対効果や利用者数の見込みなどを十分に検証等した上で、必要性の理由とすべき。</p>	1	<p>【実施段階検討】  ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
28	3.整備方針 (2)公共施設跡地と民有地の一体的整備の方針	<p>&lt;公共施設跡地と民有地の一体的整備の方針について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地も買収に入るべき。</li> <li>○将来、更なる魅力を構築するため、民間の土地を購入していく。</li> <li>○民有地を含めた区画整理をし、歩道、緑地帯を含めた動線を確保する。</li> </ul>	3	<p>【記述済み】</p> <p>このエリアをより魅力的な空間とし、整備効果を周辺に波及させるため、民有地と公共施設跡地とを一体的に整備することも検討していくこととしております。</p>
29	4.整備イメージ	<p>&lt;お堀の一部を復元する(ケース2など)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国の「雰囲気のある街」は水辺を上手に活かしている。お堀の一部を復元することにより、更に良い雰囲気を醸すことができる。</li> <li>○お堀の東側から西側を望むと、特に夜間はお堀に道路や県庁のライトが浮かび上がり(反射し)なかなかの雰囲気だ。</li> <li>○松本城のように内堀が広く美しいことにより風格が備わり評価を高める。</li> <li>○スクランブル交差点から内堀の水辺が目に入ることで、落ち着いた趣ある城下町の風情をめざすべき。</li> <li>○甲府では水辺をうまく活用しているところが少ないことから、お城南側広場と一体化した雰囲気つくりのためにもお堀を復元してほしい。</li> <li>○甲府城のお堀を延長してスクランブル交差点からも見えるようにする。</li> <li>○「県民広場(県庁内)」があり、通りを隔て「追手門広場」がありすぐその横に広場を作ることは策が無さ過ぎる。昔のように堀にボートを浮かべて楽しめるようにする。</li> <li>○人が多く集まるまちづくりは水辺をうまく活用している事例が多い。お堀を復元し、その周辺に人が集まるスペースを整備する。</li> <li>○お堀の存在というのは、人を集めて回遊させるという意味で重要な役割を持っている。</li> <li>○甲府の夏は観光客にとって耐えがたい暑さ。お堀の整備によって気分だけでも涼しくなって頂くと共に、水辺を活用し、観光客に非日常を感じて頂けるようなまちづくりをしてほしい。</li> <li>○景観として内堀と石垣は一体としたもので有り、松本城のような風格を醸し出すのには、お堀の一部を復元する。</li> <li>○お堀を中心とした静かで趣きのある空間が適切である。</li> <li>○天守閣についても史実を重視するならお堀の復元も史実に基づくべき。</li> <li>○観光客等が訪れる空間は水辺が重要な働きの一つとなっている。</li> <li>○松本城はお堀を拡充するとのこと。城とお堀はセットであり、観光客は甲府城を通過して皆松本に行ってしまう。</li> <li>○スクランブル交差点から甲府城内への誘導のためにもお堀と風情のある遊歩道が必要。</li> <li>○市街地にある全国のお城をみると、観光拠点や地域市民の憩いの場的な要素を多く含んでいて、多くの人は、戦国の日本の城というと天守閣、石垣、お堀などをイメージすると思う。お堀にボートが浮かび市民の憩いのスペースにもなっていた。</li> <li>○歴史的観点から見ると、復元した方がよりお城をリアルに感じられるので復元した方が望ましい。</li> </ul>	19	<p>【実施段階検討】</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、今後、このエリアに整備する施設など基本的事項を示す実施計画を策定していくなかで検討して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
29	4.整備イメージ	<p>○史実どおり復元可能な箇所については、史実に基づいて復元してこそ歴史的価値、シンボリック性が高まる。</p> <p>○都市の風格は緑と水辺で決まる。</p> <p>○県民会館の跡地あたりまでお堀を復元することは可能。</p> <p>○観光の目玉となるような施設が無くても、水辺で憩うことができる環境を整えば、自然と中心街に人が集まってくる。お堀を県民会館跡地くらいまで拡張して整備する。</p> <p>○お堀は出来る限り江戸時代当時の甲府城の周りと同じように復元して欲しい。また広場を作りつつも水辺で子どもが遊べるなど、水と城と人が調和できる空間を是非作ってほしい。</p> <p>○道路面の高さの変更をしても、「お堀の復元」を図るべき。</p> <p>○史料および発掘調査にもとづいて堀および門等の復元をすべき。</p> <p>城趾として歴史的価値のある場所であり、歴史的施設の復元・再生を第一に考えるのが当然。都市の歴史文化を磨くことが地方活性化のチャンスになる(観光・商業のみならず、地域の意識への影響も)。</p> <p>広場空間をここに作る意味・効果が乏しい。広場は周囲を囲む建築と一体となって魅力的な空間になる。広場だけがあっても利用されない。</p> <p>既に、曲輪門からお堀の北と南のルートがあるので、スクランブルから北東方向への動線の需要があるのか疑問。</p> <p>水辺を人通りの多いスクランブル付近まで取り込めると、水の潤いを感じられる街になる。堀を取り囲む遊歩道を設けられれば、他の地方都市の広幅員道路に囲まれた堀と異なりヒューマンスケールの快適な空間になる。堀に隣接する民有地に飲食店を誘致できれば、県庁別館のライトアップと水辺を眺めながら食事出来るスポットとなり、また追手門側の遊歩道から飲食店街の光が水面に映る景観スポットとなる。この水辺自体が観光資源化する。</p>		
30	4.整備イメージ	<p>&lt;お堀を復元しない(ケース1)&gt;</p> <p>○活用できる土地が極めて少ないため。熊本地震のような大災害に遭遇した場合、空いたスペースが必要。</p> <p>○災害時を考えて、広場兼通路とした方が良い。</p> <p>○舞鶴城公園から桜の回廊が繋がることでお堀を囲う形での回遊ルートが確保される。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮することで保育園や子供連れでも散策しやすく、その際に歴史に触れることで甲府城の歴史を次世代に伝える役目も果たせる。</p> <p>○集いの広場は広い方が活用しやすい(イベント開催など)なのでお堀は復元しない方が良い。</p> <p>○より大きなイベントを催せるような敷地と動線の確保のため。</p> <p>平和通り沿いや北口など、広場以外の場所でも色違いタイルなどで内堀跡を表現すれば面白い。</p>	5	<p>【実施段階検討】</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、今後、このエリアに整備する施設など基本的事項を示す実施計画を策定していくなかで検討して参ります。</p>
31	4.整備イメージ	<p>&lt;お堀の利用について&gt;</p> <p>○水を清潔に保ち、お堀の利用を考える(船を浮かべたり鴨を放すなど)。</p>	1	<p>【実施段階検討】</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
32	4.整備イメージ	<p>&lt;集いの広場について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○誰でも入りやすい空間にしつつ、スクランブル交差点に面しているのも簡単に道路の方へ行けない工夫を行ってほしい。</li> <li>○イベントスペースに、子供が集まる方法を考える。遠足、発表会利用、学校の植物栽培、子供展示物掲示など子供の利用を促進することで親や祖父母など、子供以上に多くの人が集まる。</li> </ul>	2	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
33	4.整備イメージ	<p>&lt;東電の東側の山梨県福祉会館のところを南北に縦断する回遊路(小道)を設置する&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お城と岡島北側付近と結ぶことで、お城が更に活かされる。</li> <li>○オリオンスクエア・オリオンイーストとの回遊を高めて、商店街との連結を行わないと回遊性向上に繋がらない。</li> <li>○商店街からお城が見える、あるいはお城から商店が見えるようにすることにより、回遊性が高まる。</li> <li>○甲府城南側の中心商店街からお城を望んだ時に、通りの先にお城の石垣が見えれば「行ってみよう」と自然と思える。</li> <li>○せっかく足を運んでも行きたいと思うところがない、行きたくてもどこに行けばいいかわからないと思わせないように、うまくお城と商店街を連結させるべき。</li> <li>○お城でイベント等が行われても、そのお客さんたちがそのまま中心街へ流れてくるといったことがあまりない状況にある。</li> <li>○中央商店街との回遊性を高めるため。</li> </ul>	7	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
34	4.整備イメージ	<p>&lt;整備イメージについて&gt;</p> <p>○「どんな和風を求めているか」「どんな和風の景色を楽しみたいか」「どんな和風の景色であれば楽しめるか」が重要。</p> <p>たとえば、一気に江戸時代にタイムスリップして、飲食・物販ゾーン、歴史・文化のゾーンにおいては城下町を再現する。その城下町では、个性的なお店の出店、茶屋や足湯、散歩ができる空間があるといい。お堀前のオープンカフェは、時代劇に出てくる茶屋風で、着物の店員が接客する。飲食・物販ゾーンには眼鏡屋も米屋も雑貨屋も、普通の商店があってもいい。ミュージアムやお土産屋も統一された和洋折衷風だと楽しそう。遊亀橋通りは城下町の長屋の街並みなら感動する。</p> <p>甲府城に集約して「そこに行きさえすればとりあえず楽しい」という濃い濃い濃い場所を作って、そこから「じゃあ他も少し見ようか」という流れを作るのが良いのではないか。</p> <p>甲府駅を出た瞬間から歴史を感じる非日常が広がっていたら魅力的だ。</p> <p>歴史を感じられる景色というのは自然と調和する美しい景観である。</p> <p>訪れた人々や近隣住民に、その景観に癒しを感じて「住みやすい、住みたい街」と思ってもらいたい。</p> <p>甲府駅の近くにある超魅力的な場所づくりが必要。</p>	1	【実施段階検討】 デザインや整備の規模等については、ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
35	4.整備イメージ	<p>&lt;歴史・文化を感じるための施設について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史・文化を感じるためには、甲府城の図面・出土品などを展示する「甲府城博物館(資料館)」が必要。</li> <li>・国内の城で温泉が湧いた唯一の城をアピールする「温泉施設」を設ける。</li> <li>・場内にあった楽屋曲輪をお城周辺に再建。</li> <li>・江戸時代の商店街を設ける(特にお茶屋など飲食店)。</li> <li>・(これらを)一カ所に集中させないで甲府城周辺に設置し、回遊するよう仕掛ける。</li> <li>・山交百貨店の北道路は県外客の甲府城へのメイン道路となるので仕掛けが大切(和風の歩道とする、山交百貨店の北壁面1階部分を和風とする)。</li> </ul>	1	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
36	4.整備イメージ	<p>&lt;甲府城南側(お堀沿い)エリア&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○マンガ・アニメを活用した施設を組み込む、甲府道祖神祭り幕絵をマンガ・アニメで表現して展示するなどの話題づくり。</li> <li>○地元の著名な作家による作品の常設展示等。</li> <li>甲斐の国風林火山博にて武田二十四将を題材にした切り絵(百鬼丸さん)の展示など。</li> <li>山梨の人気カフェ等を集めた飲食ゾーン。</li> <li>○小さい子ども連れでも気軽に入れるカフェやレストラン等。</li> <li>テイクアウトのお店等があれば広場や舞鶴城公園の利用も広がる。</li> <li>○お店は、おしゃれなカフェ、子育て世代が気軽に入れるようなレストラン、サラリーマンでも入りやすい食堂とか、バリエーションを考えるとよい。</li> <li>○お城をよく見ることが出来るガラス張りの建物にし、開放的な空間での飲食を楽しむように、屋根付きのテラスを設置する。</li> <li>街の駅、茶屋、宝石専門学校生やクラフト作家のワークショップやコラボ商品作成の実演を行う工房を整備する。</li> <li>○オープンカフェは「歴史・文化のゾーン」や隣接する「桜の回廊」沿いなどに整備しても良いのではないかと。また「甲斐の八珍果」を意識したものを取り入れると良い。</li> </ul>	6	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。
37	4.整備イメージ	<p>&lt;甲府城の復元について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「追手門」を復元する。</li> <li>○追手門の復元、鍛冶曲輪に長屋門の復元、最終的には天守閣を復元する。</li> <li>○天守閣の礎石調査は全体本格調査を行う。</li> <li>○城内に「本丸御殿」を再建する(江戸時代の宴会、食事等の体験他のソフトが必要)。</li> </ul>	4	【反映困難】 この計画は、甲府城周辺地域を対象としており、史跡甲府城跡は対象となっていません。
38	4.整備イメージ	<p>&lt;散策路について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各ゾーンの歩道舗装上に「矢印サイン」「甲府城方面」「県庁方面」のようなイラストや文字、アイコン等のプリントを施し、容易に目指す施設にたどり着ける工夫する。</li> <li>○紅梅北通りを「その他エリアの回遊動線等」と位置づけ、「来訪者を出迎えお城へ誘う集いの拠点」と「中心商業エリア」を結ぶ動線として自動車交通は確保しつつ、賑わいある空間として整備すべき。</li> </ul>	2	【実施段階検討】 ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。



No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
39	5.整備スケジュール	<p>&lt;整備スケジュールについて&gt;</p> <p>○スケジュールにしばられて中途半端な整備結果とならないよう、整備する事項や場所によっては、「超長期」(例えば、平成39年度よりも更に5年先)といったスケジュールも計画すべき。民有地の買収や中期・長期計画に基づく整備結果や整備効果を踏まえた取り組み等については、時間をかけても将来に向けた有効な対応をすることが財産となる。</p> <p>○「飲食・物販ゾーン」が目玉となる集客施設であることを考えると最初につくっていくくらいの考えでないとならぬと全体的に盛り上がってこないのではないか。</p> <p>○民地の利用については地権者との関係もあることから多少長期化することはやむを得ないが、可能な限り迅速に計画を立案し実行してほしい。</p>	3	<p>【実施段階検討】</p> <p>整備スケジュールは、開府500年、信玄生誕500年など、節目となる時期を考慮し、一定の整備効果を発現できるような目標にしています。</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、今後、実施段階で検討して参ります。</p>
IV その他のエリア及びエリア全体の取り組み方針				
40	1. その他のエリアの取り組み方針 (2) 中心商業エリア	<p>&lt;賑わいの商業ゾーンの取り組みについて&gt;</p> <p>○統一感ある路地の形成。例として台湾の九分のような提灯を設置し、景観で観光名所を創出する。</p>	1	<p>【実施段階検討】</p> <p>ご意見を参考とさせていただき、今後検討して参ります。</p>
41	1. その他のエリアの取り組み方針 (3) 舞鶴公園北通り線沿道エリア	<p>&lt;舞鶴公園北通り線の整備について&gt;</p> <p>○「山交の横から舞鶴公園北側の入口」までの道路と環境整備を最優先事項とすべき。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>舞鶴公園北通り線については、現在甲府城へのアクセス性を考慮した歩道や車道の整備を行なっています。</p>
42	1. その他のエリアの取り組み方針 (4) 橋東線沿道エリア	<p>&lt;橋東線沿道エリアについて&gt;</p> <p>○当該エリア整備の核は、甲府駅北口回遊路線からの誘導であることから、中央線桜町踏切の整備(踏切と踏切の北側及び南側を含めた道路の幅員拡張)を行うべき。</p> <p>○J.R踏切が歩行者にとって自動車や自転車などの通行が多く難所です。歩行者が安全に通行出来るよう改善してほしい。</p> <p>○空き地や空き店舗を活用して魅力的な店を誘導するということについて、風変わりな店やマニアックな店などがあつたら面白い。</p>	3	<p>【実施段階検討】</p> <p>桜町踏切及び踏切の北側については、幅員を拡張し、歩道整備を予定しています。</p> <p>桜町踏切から南側の橋東線については、幅員拡張が困難なため現道幅員の中で歩道の整備を検討していきます。</p> <p>空き店舗等の活用については、ご意見を参考にさせていただき、実施段階で検討して参ります。</p>
43	2. エリア全体の取り組み方針 (1) 回遊をサポートする交通環境の充実	<p>&lt;舞鶴橋の景観の復元について&gt;</p> <p>○遊亀橋東側のバス乗降場所・駐車場については、本計画素案により今後予定している他の位置に集約し、当該位置については堀を拡充復元し、かつてこの位置付近にあった舞鶴橋の景観を復元すべき。</p>	1	<p>【反映困難】</p> <p>周辺に大型バス駐車場の確保が困難であることから、当面はバス乗降場所・駐車場として利用して参ります。</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
44	2. エリア全体の取 り組み方針 (2)その他の取 り組み	<p>&lt;多彩なイベントの実施について&gt;</p> <p>○甲府城を含め、走ったり、歩いたりする、ロードマップの作成。 イベントなら「山梨学院大学の箱根駅伝の選手と一緒に走ろう・甲府路!!」も一案。</p> <p>○定期的な、観光客が来場しやすいイベントの開催。例えば、地元の劇団の役者さん方を起用したイベント、よっちゃばれ広場のフリーマーケット、甲州市や山梨市の朝市など。</p> <p>歴史ファンに喜ばれるような専用の観光タクシー。例えば、人気武将等をデザインしたラッピングタクシーで歴史の史跡巡り。甲府城周辺の風光明媚な景観を活かし、安全に活動できるサイクリングロードやマラソンコース等の整備。</p> <p>○新潟県 健康ウォーキングロード事業や「スマートウェルネスシティ」の「健幸ポイント」制度などが参考になる。</p> <p>○スタンプラリーで甲府駅北口～南口をつなぐ。</p> <p>舞鶴城をモチーフにしたお土産など、コラボ商品の開発を行う。</p> <p>ゆるキャラの募集を行う、稲荷櫓を活かすなど甲府城のシンボルを作る。</p>	4	<p>【記述済み】</p> <p>地域活性化のためには、ご意見をいただいた様な多彩なイベントを実施する必要があると考えております。今後は、周辺地域とも適切に連携を図り、イベントが活発に開催されるよう、取り組んで参ります。</p>
45	2. エリア全体の取 り組み方針 (2)その他の取 り組み	<p>&lt;多様なツールによる情報発信について&gt;</p> <p>○土日や連休時にはかなりの観光客が訪れている。甲府駅から歩いて2～3分でこんなにも観光客にも喜ばれる観光地(歴史・石垣・眺望・駅からの近さなど)があることを、もっと積極的にPR する必要がある。</p> <p>訪れた人の数をカウントするとか、観光客の声を集めて魅力的な観光地(歴史・石垣・眺望・駅からの近さなど)であることを県内外にお知らせしてはどうか。</p> <p>○県や市の SNS をもっと活用し、全国に山梨の歴史と魅力を情報発信してほしい。</p>	2	<p>【記述済み】</p> <p>その他の取り組みとして、多様なツールによる情報発信を考えております。</p>
46	2. エリア全体の取 り組み方針 (2)その他の取 り組み	<p>&lt;その他の取り組みについて&gt;</p> <p>○東横イン付近、夢小路、平和通り、オリオン付近に、プラス岡島の下側全域を、甲府夜の街構想を入れてほしい。観光拠点にするなら、夜の街は必要不可欠。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>中心市街地の賑わいの創出の一つとして参考にさせていただきます。</p>